

びしま紅鱗会の発足に当って

会長 窪田一胤

数年前から外房大原で、私の敬愛する釣友中、お人柄、技量最も卓越した二、三の方を核として、びしま道具とかぶらによる鯛釣りの一群が、自然発生的に生まれました。このような話を聞きながら、私は関東の釣場にご無沙汰して、隠岐や九州の離島などを釣り歩いていたのですが、誘われて仲間に加えて頂きました。青年から初老の方まで年配はさまざまですが、実にもう雰囲気がすばらしい。釣技が又見事である。殊に若い人達が、鯛釣歴一年に満たぬ人もあるというのに、うまいのです。そして一人も天狗がないこと、釣れない時も愚痴めいたことを漏らす人がないことも不思議です。このような仲間ができたのは、やはり友達の技量とお人柄によるものと、びしま釣りの奥深い魅力によるものと思います。私は鯛釣りの将来については、甚だ悲観的でした。今やびしまの鯛釣りは職漁者からアマチュアの手へ渡って、

この釣りを伝承してゆく者はアマチュアを措いてない状況です。幸いにして、若い人達の間にこの釣法の愛好者が現われ始めたことに、私は無上の感動を覚えます。感動を同じくした人は私ばかりではないと見えて、大原で知らぬ者もないこの道の達人までも仲間入りされ愈々活気を呈して来ました。この一団を軸に釣会結成の気運が自然に起り、発足の運びとなりました。びしま釣りに強い関心を懐かれる方々の御参加を得て、喜びを共にし、伝統が永く引継がれることを念願致します。又この会は開かれた会です。志ざしを同じくする人の参加を歓迎いたします。会の名称は、特徴を明示する意味で「びしま紅鱗会」と致しました。何卒御意見、御支援を賜りますよう御願ひ申し上げます。

**個人の参考用出力は歓迎しますが
無断転載はお断りします。**

現在、かぶら針の材料は 国道28号 太東岬と大原の間にある
「田中つり餌センター」で売っています。Tel0470-87-6620

かぶらを叩こう

小川英爾

楽しい鯛釣りにするためにぜひ御自分でかぶらを叩いてみて下さい。我ながら上手にできたなあと思ったかぶらに鯛が掛かってきた時の感激は又ひとしおです。又色々な重さのかぶらを用意して、できるだけ軽いかぶらで鯛を釣ることを心掛けて下さい。他の人が10号を使っていたら8号、8号を使っていたら6号というような釣りをすれば自然と鯛釣りが向上します。軽いかぶらを使っている「たち取り」は大変ですが、たち取りの良いびしまを使ったり、釣り方を工夫したりして克服して下さい。ぜひとも実行を。

用意するもの

- 工具
1. 金床(レールを切ったもの)
 2. タガネ(刃の中が13mm以上のもの)
 3. ゲンノウ(普通の形のもの、小さなものは良くない)
- 1.2.3. 共、金物屋で売っています。



金床 タガネ ゲンノウ

材料1. 親針(鯛かぶら針) オリピックえんま針を使用します。かぶらの大きさによって針の大きさを考えます。10号かぶらには18~20号針、5号かぶらには15~16号の針を使用します。これを標準として各自の好みで選んで下さい。針全般に言えることですが一まわり大きいと感じる針を使用してもあまり釣果に影響ありませんが小さめの針は伸びたり掛りが悪かったりと思わぬ失敗を招きます。又15~16号に軸の長いものがありますが、これはさけたほうが無難です。

2. 孫針(アト針)

オリピックえんま針の9~13号迄を使用します。15号親針には10号、20号親針には12号を標準として、一寸大きめの針を使用するよう心掛けて下さい。

3. ちもと糸、しばり糸

ちもと糸はナイロン撚り糸を使います。色は茶・赤色系統を使い、黄、白、青等はさけたほうが無難です。糸の太さは直径0.8~1mm位のものを好みで使用します。かなり細いと感じる糸でも強度的には心配りません。しばり糸はナイロン撚り糸、木綿糸等なんでもかまいませんが太さはレース糸位のものが良いでしょう。

4. ナイロンハリス

ちわわをつくるためにナイロン8号、孫針用ハリスにナイロン6号を用意して下さい。銀鱗等で結構です。

5. かぶらおもり

5.6.7.8.10.12.15号が市販されています。各号数の重さは下表のとおりです。5.8.10号の三種類を用意すればだいたい釣りはカバーできます。

5号	6号	7号	8号	10号	12号	15号
22g	23g	29g	31g	40g	46g	57g

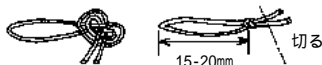
かぶらの叩き方1. 親針にちもと糸をまく。針にちもと糸のせて、しばり糸でぐるぐる巻き最後のところをきっちりとしぱって下さい。



しばり糸で巻いてとめる 6~7mm

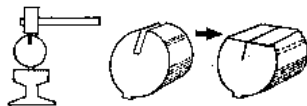
2. ナイロン8号でちわわを作る。

ナイロンを二重にして一回しばって下さい。輪の長さはかぶらの大きさに合せて加減して下さい。

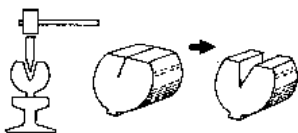


3. かぶらを叩く

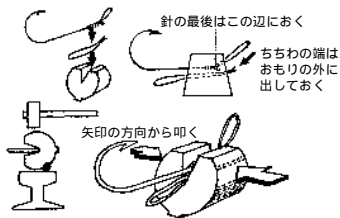
イ、かぶらを金床の上においてかぶらの上部をゲンノウで平らにします。なるべく水平に叩いて下さい。



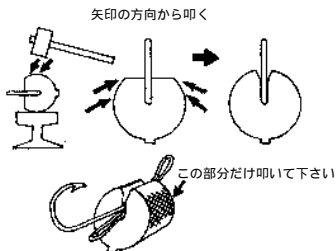
ロ、タガネでV型のミゾを入れる。中央に真っ直ぐにミゾを入れて下さい。真っ直ぐでないとおとでかぶらの形が悪くなります。ミゾの深さはかぶらの半分位とします。



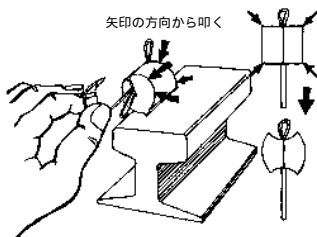
八、おもりにちわわと親針を入れて、金床の上で矢印の方向から叩いて、親針とちわわで軽くとめます。



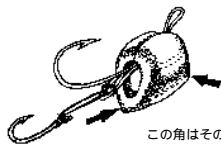
二、針が左右にずれてないかを確認してから、金床の上で強く叩いて針をしめこみます。叩くとき矢印のように心持ち下から上にのぼすように叩きます。この時針の上部から叩かないで下さい。上から叩くと針がしまらなくなります。



ホ、針がしっかり止まったら親針を手で持ち金床の上でぐるぐる回しながら四隅のカドを叩いて丸みをもたせませす。この場合も外側から針の方向にのぼすように叩くと形が良くなります。

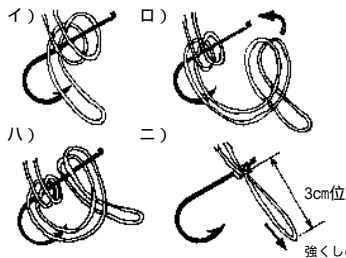


へ、最後にかぶらを手に持って全体に叩き目を入れるように仕上げます。凸凹とか歪みをとるようになおかつ全体にバランス良く美しく仕上げてください。

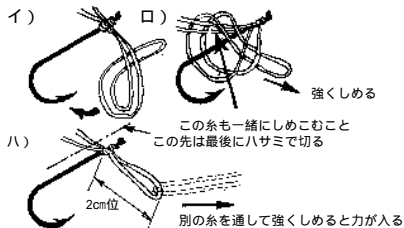


あらかじめハリスにしばった孫針をちわわに通してできあがりです。

孫針のしばり方
イ、ナイロンハリス6号15cmを二つ折りにして図のように針に二回巻いて強くしめて下さい。

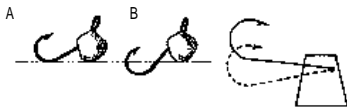


ロ、手前の輪の部分を図のように一回まわして強くしばれば出来あがりです。強くしめるには別の糸を輪の先に通してひっぱると力が入ります。



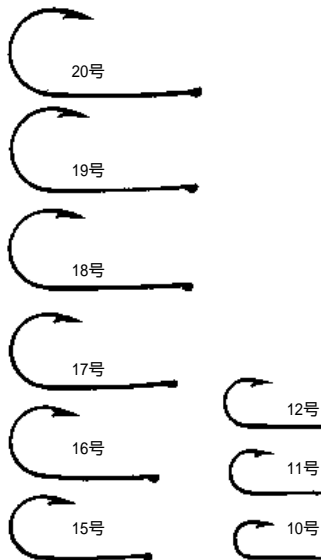
かぶらの角度

図Aと図Bの中間位の角度が私の好みです。この角度は人によって好みが違うので一概に言えませんので好みの角度は皆様で研究して決めて下さい。最初はこの角度がバラバラに出来あがるかもしれませんが、おもしろに針を入れる時に一寸注意すれば好みの角度に仕上がります。



親針を軽く止める時、針の角度をかえると好みの形ができます

かぶらの叩き方は人によって若干異なりますが、ここに書いたものを標準として各自で工夫して出来るだけ形のよい美しいものを作るように心掛けて下さい。最後に親針と孫針の原寸大の図を載せましたので参考にして下さい。



鯛釣り会ピシターへのお誘い

窪田一胤

私達の期待する会の性格について少々申し上げます。先づ志向を同じくする集まりであること、現在育ちつつある雰囲気、姿勢を大切にすること、単なる娯楽や競技の方向よりも多少でも研究的な方向を目指すこと、最小限このようなものであることが望ましいと思います。具体的な事柄を二三申し上げます。

勿論釣りものは真鯛、道具はびしまとかぶらの一本槍で行きます。びしま道具は差し当りお借しできるような用意します。又自作したい方はお教へも致します。びしま道具はタチ取りが難しいということ有名且悪評噴々たるものがあるようですが、決してそのようなことはありません。手ほどきよろしきを得れば、5分位で合得できます。プロはタチを取つてくれますが、とり方までは教えてくれません。我が会員はというと、実に謙譲な方ばかりで、物知り顔を慎しむ節があって、恐らくでしゃばりはなさらないと思います。

この多少嫌味な啓蒙役は敢て私が買って出ます。もう一つ申添えたいことは、初めから入会なさらずに、ピシターとして数回御参加下さい。何しろ特異な釣会です。竿とリールがないと、釣りのような気がしない向きもありましょう。数回試みてから御入会になればよろしいです。

びしま道具をお勧めする理由も、ついでに申し恭へます。この道具は太平洋、四国、九州全域、日本海能登半島以西の鯛釣り漁師の生活を支えて来た道具です。殆ど全国の鯛釣り場で通用するのはこの道具だけです。小地域での別の釣り方もありますが、それは他所では通用しません。殊に九州、隠岐等では100～150mの深場が開発され、浅場は殆ど顧みません。従って将来各地の鯛を試みる方は、この道具に習熟しないと手も足も出ません。然も改良されたびしま道具を必要とします。この会の存在理由の一つは、こんな所にもあると云へましょう。

当会は月2回、原則として日曜日鯛釣り会を開いております。おもな釣り場は外房大原です。会の主旨に賛同し、びしま、かぶら道具での鯛釣りに興味のある方なら誰でも歓迎します。ぜひ一度ピシターとしての御参加をおすすめいたします。

びしま紅鯛会・会報1981.1.15発行
会報についての御意見、御感想又2号以後の
企画等お聞かせ願えれば幸いです。
釣行計画についてのお問い合わせは
酒井迄(TEL.0474-39-1548)
会報についてのお問い合わせは
小川迄(TEL.03-421-3929)

この会報は発行当時のままですので、電話番号等変わっています